平成26年3月31日　第17号

いわき市青少年育成市民会議

好間地区推進協議会だより

編集発行
いわき市青少年育成市民会議
好間地区推進協議会

事務局
いわき市立好間公民館

１面　読書の勧め
２面　愛の一声運動・おやこ体験教室
３面　好間ジュニア学級・大なわとび大会
４面　好間町ポスター展・標語展

読書の勧め

好間地区推進協議会
会長　片寄　秀雄

子どもたちの活字離れが言われ始めてから久しくなります。テレビの普及に始まり、六十年代からは、ファミコンなどのテレビゲームに熱中し、宿題などを済ますのがやっとで、読書をすることはほとんどなくなりました。

そのため、家族などの周りの大人が本を買い与えても興味を示さないことも少なくなっている状況です。学校では、週時程の中に読書の時間を位置づけ、朝や借りる子も少なくなっている状給食後の決まった時間に一斉に読書をしているところもあります。

私は昭和二十四年に小学校に入学したのですが、戦後の貧しい生活をする時代でしたので、親と買うものが唯一の情報源でした。小学一年生「風呂炊きをしてくれた」ことを記憶しております。三年か四年生の頃、学校で「フランダースの犬」という本を買い、読み進めるうちに主人公になりきったような気持ちになり、涙を流しながら何回も読み、読書のよさに気づき、本だけでなく新聞も読むようになりました。

テレビは、中学生の頃は大利勢の人が集まり、紅白歌合戦を観たことが、なつかしく思い出されます。

好間中では、図書室から本を借りて読んでいましたが、高校生になると、学校の帰りに今はない魁文堂という本屋から単行本を買って読むようになりました。印象に残っている本は、夏目漱石の「こころ」や「坊っちゃん」、川端康成の「伊豆の踊子」、宮沢賢治の「風の又三郎」などです。週に一冊ぐらいは読んでいたと思います。

読書のよさは、いろいろなことへの思考力が身に付くこと、判断力や文章表現力が養われることなどが考えられます。最近のテレビや新聞で報道されるさまざまなできごとも、落ち着いて考えることなく、前後の見境もなく、大それた事件を起こしてしまうのではないかと思います。小さいころからテレビで、相手を簡単に傷つける、お金になる欲しい物が手に入る、などの事例を目にし、自分もやれると錯覚してしまうのでは子どもの頃から読書に親しみ、望ましい生き方を考え、そのためにどう学んでいくかを身に付け、目標に向かって努力することが大事であると考えます。

平成二十五年度事業経過

平成二十五年六月十～十四日
第一回愛の一声運動（三十九名出席）
平成二十五年十月七～十一日
第二回愛の一声運動（三十六名出席）
平成二十五年十一月五～八日
第三回愛の一声運動（二十五名出席）
平成二十五年十一月三十日
おやこ体験教室
～おやこ「陶芸」教室～
平成二十五年十二月八日
第十七回好子連大なわとび大会（共催）
平成二十六年一月下旬より
第四十三回好間町少年ポスター展・
第三十一回社会を明るくする運動標語展
入賞作品掲示
（各小中学校・公民館）
※ポスター・標語は好間公民館に
三月中旬まで掲示
平成二十六年二月二十二日
第四十三回好間町少年ポスター展・
第三十一回社会を明るくする運動標語展
表彰式（主催）
「三ない運動啓発活動」（十二名出席）
平成二十六年三月二日
まちづくり文化講演会
「三ない運動啓発活動」（十二名出席）

好間町少年ポスター展・社会を明るくする標語展

第43回好間町少年ポスター展及び第31回社会を明るくする標語展を、好間町子ども会育成会連絡協議会との共催で実施しました。
各小学校の御協力によりまして、ポスター展には651点、標語展には237点の応募がありました。
標語については片寄　秀雄先生と武田　喜美男先生に、ポスターについては草野　周子先生に、それぞれ御審査いただきました。
入賞作品は、各小学校を巡回して展示された後、好間公民館に展示され、2月22日（土）に表彰式が行われました。なお、標語については、好間一・二・三・四小、好間中学校、好間公民館の標語掲示板に、入賞作品のうち最優秀賞から銀賞までの作品が掲示されておりますので、ご覧ください。 上位入賞者と作品は次のとおりです。

第４３回　好間町少年ポスター展入賞者

優秀賞（6点）

学　年	学　区	氏　名
1年	四小	新妻　薫実
2年	二小	吉田　叶和子
3年	二小	志賀　圭悟
4年	二小	桑田　瑠捺
5年	二小	井川　知哉
6年	三小	遠藤　孝生

金賞（12点）

学　年	学　区	氏　名
1年	一小	猪狩　拓磨
	二小	大和田　愛菜
2年	一小	大平　のあ
	二小	伊藤　真果
3年	一小	岡部　優汰
	二小	中村　若葉
4年	一小	村山　瑠菜
	四小	鯨岡　柚樹
5年	一小	草野　立翔
	一小	渡辺　浩平
6年	二小	須藤　えりな
	三小	古川　絵梨

銀賞（18点）

学　年	学　区	氏　名
1年	一小	小布施　蒼空
	二小	菅原　陽向
	二小	渡邉　来海
2年	一小	北川　陽菜
	二小	鈴木　永遠
	三小	藁谷　涼
3年	二小	春日　美紅
	二小	近藤　和
	三小	船山　秀人
4年	一小	菅野　琉偉
	二小	片寄　葵衣
	四小	松本　花凜
5年	二小	渡辺　なつみ
	二小	佐藤　怜美
	四小	大榊　鈴音
6年	一小	白石　理桜
	一小	藤丸　陽日
	二小	根内　悠愛

第３１回　社会を明るくする標語展入賞者・作品

最優秀賞（1点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
6年	一小	佐藤　樹	清らかな　流れを永遠（とわ）に　好間川

優秀賞（2点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
5年	一小	蒲生　侑斗	川に山　好間の自然　守ろうよ
5年	二小	草野　雄大	だれにでも　朝のあいさつ　元気よく

金賞（5点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
6年	一小	山田　瑞樹	ポイ捨ては　自分の心も　よごしてる
6年	一小	飯　隆之介	あいさつは　心のトビラを　開くカギ
6年	一小	斉藤　はな	あいさつは　相手からより　自分から
5年	二小	渡辺　なつみ	守ろうよ　自然豊かな　福島県
5年	二小	半澤　早葉	ありがとう　感謝の心　広げよう

銀賞（7点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
6年	一小	内藤　雅裕	これくらい　と思う万引き　悪への一歩
6年	二小	平子　凜	どうしたの　その一言を　私から
6年	三小	渡邉　怜	まもろうよ　きれいな町を　ぼくたちで
5年	一小	清水　裕貴	かんがえて　そのひとことは　いっていいい？
5年	一小	小林　美空	自分から　進んでごみを　拾ってみよう
5年	二小	草野　桐摩	おはようと　みんなで一緒に　元気よく
5年	三小	藁谷　瑠南	笑顔でね　心を込めて　ありがとう